

かみのかわ

議会だより



Kaminokawa



元気いっぱい！（高齢者・障がい者スポーツ大会）

No. **167**

平成29年11月1日

◆編集発行◆

上三川町議会広報委員会

〒329-0696
栃木県河内郡
上三川町しらさぎ一丁目1番地
TEL 0285 (56) 9161

◆目次◆

9月定例会議決事項	P2~P4
常任委員会審査結果報告	P5
決算特別委員会	P6
討論	P7
常任委員会・広報委員会視察研修報告	P8~P9
8月臨時会議決事項・審議一覧結果	P10
9月定例会・審議結果一覧	P10
ここがきたい一般質問	P11~P17
上三川町ってどんなところ？・編集後記	P18

平成28年度 会計決算を認定

一般会計

歳入 113億1,690万円 前年度比 5.1% (6億1,249万円) 減
 歳出 108億7,230万円 前年度比 3.8% (4億3,131万円) 減



このようなことが決まりました。

◆9月定例会◆

平成29年第4回町議会定例会が9月5日から21日までの17日間の会期で開催されました。

条例、予算に関する議案・陳情等について審議を行いました。

※ 議案等に対する採決結果については10ページに「審議結果一覧」として掲載しています。

同意

◆ 議案第59号

教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

9月30日をもって任期満了となる教育委員の、吉田由美氏（大字梁）を再任命することに同意しました。

条例制定等

◆ 議案第60号

上三川町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

条例の用語の整理及び罰則規定を追加するため、改正するものです。

◆ 議案第61号

上三川町税条例等の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部改正に伴い、控除対象配偶者の定義変更、法人町民税の法人税割の税率改正等を行うため、改正するものです。

◆ 議案第62号

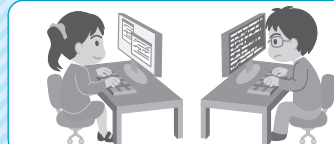
財産の取得について
(消防ポンプ自動車)

消防ポンプ自動車の老朽化に伴い更新するものです。

◆ 議案第63号

上三川町地域福祉センターの設置及び管理に関する条例並びに上三川町障がい者自立支援施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

上三川北地域福祉センターを廃止し、こども発達支援センターを設置するため、改正するものです。



見てくる〜!

議会のホームページ
 上三川町のホームページから
 上三川町議会をクリック・
 新着情報や多彩なメニュー満載です。
 ぜひ見てください。

◆ 議案第64号
上三川町放課後児童クラブ指定
管理者の指定について

平成30年4月から町内全7つの放課後児童クラブを一括管理する指定管理者の指定をするものです。

【指定管理者】

シダックス大新東ヒューマン
サービス株式会社

【指定期間】

平成30年4月1日～
平成33年3月31日

議員派遣

議会運営委員会視察研修

【目的】議員研究会、政策討論会等について

議会運営・議会改革について、議会災害時行動マニュアルについて

【期間】10月26日・27日

【場所】静岡県菊川市
静岡県湖西市

◆平成29年度補正予算◆

(単位：千円)

議案	会計名	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額	歳入	歳出
第65号	一般会計(補正第3号)	10,186,979	1,293,582	11,480,561	法人の業績好転による法人町民税の増額、産地パワーアップ事業の追加による増額等	道路施設維持管理に係る工事請負費の増額、中央公民館の修繕料等の増額
第66号	国民健康保険事業特別会計(補正第2号)	3,691,240	19,177	3,710,417	前年度繰越金の増額等	前年度事業費精算に伴う国庫負担金等の償還金の増額等
第67号	介護保険事業特別会計(補正第1号)	1,990,000	110,821	2,100,821	前年度繰越金の増額	前年度事業費精算に伴う介護給付費準備基金積立金の増額等
第68号	後期高齢者医療特別会計(補正第1号)	232,000	2,975	234,975	前年度繰越金の増額	後期高齢者広域連合給付金の増額等
第69号	公共下水道事業特別会計(補正第1号)	1,201,000	15,710	1,216,710	町債及び前年度繰越金の増額	工事請負費及び補償費の増額

(単位：千円)

議案	会計名	種別	収支	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額	補正内容
第70号	水道事業会計(補正第1号)	資本的 収支	収入	78,058	10,000	88,058	工事負担金の増額
			支出	288,552	10,000	298,552	工事請負費の増額

◆平成28年度決算認定◆

平成28年度一般会計・特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計剰余金の処分及び決算について、監査委員の決算審査意見書を付け、上程されました。

決算特別委員会において審査を行い、その結果報告を受けて、本会議で認定しました。

議案	付議事件項目	採決結果
第71号	一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第72号	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第73号	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第74号	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第75号	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第76号	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第77号	水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び認定

報告

◆ 議会の委任による専決処分事項の報告について

道路舗装の破損により発生した町道に係る事故について、和解が成立したため報告がありました。

◆ 平成28年度上三川町一般会計継続費精算報告について

平成27年度、28年度の2カ年事業として継続費を設定した「上三川小学校屋内運動場新築事業」が完了したため、継続費の精算報告がありました。

◆ 平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

監査委員の審査意見を付して平成28年度の財政指標が報告されました。

【健全化判断比率】

- 実質赤字比率・連結実質赤字比率
- 赤字なしのため、該当なし
- 実質公債費比率 5.3%
- 将来負担比率

充当可能財源等が将来負担額を上回るため該当なし

○資金不足比率

各公営企業会計の赤字なしのため、該当なし

委員会提出議案

◆ 委員会案第205

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の特別措置の継続に関する意見書の提出について

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の特別措置の継続について、次のとおり、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、衆参両議院議長に要望するものです。

【意見書】

道路は住民の日常生活や経済活動を支え、地域住民の活性化に資する社会基盤として、また、災害時には住民の命を守るライフラインとして非常に重要な役割を果たしている。

現在、道路事業においては「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下「道路財特法」という。）の規定によ

り、社会資本整備総合交付金事業などの補助率等が嵩上げされているが、この嵩上げ措置は、平成29年度までの時限措置となっている。

地方創生に全力を挙げて取り組んでいるこの時期に補助率等が低減することは、地方の努力に水をさすものであり、「共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川」の実現に向け、不可欠な道路整備事業の推進に、大きな影響が及びこととなる。

よって、国においては、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続するよう強く要望する。

また、要望に応じた予算配分がされるよう、予算の十分な確保を要望する。

決算審査意見書（要旨）

町監査委員より決算の審査結果報告がされました。

監査委員 館野治信
監査委員 石崎幸寛

【審査の対象】

- 一般会計
- 特別会計
- 水道事業会計

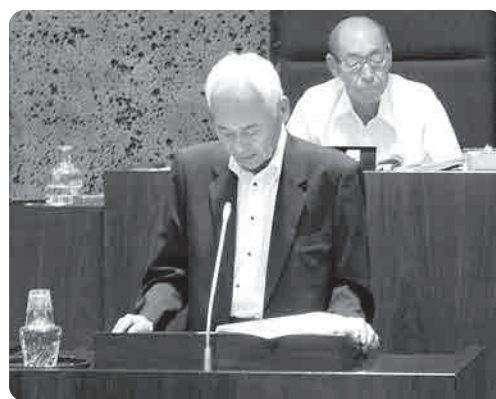
【審査結果】

一般会計決算書及び特別会計決算書、付属書類は、関係法令に準拠して作成され、計数は正確で内容も適正であると認められました。

水道事業会計決算書及び付属書類は、関係法令に準拠して作成され、経営及び財政状況についても適正であると認められました。

経常収支比率96.3%と前年度から26.2ポイント悪化し、財政構造の硬直化を示す値となっています。

このことから、歳入においては中期的計画に基づいた財源確保、歳出においては町単独事業の抜本的見直しや総合的な検証を行い、将来を見据えた安定的な財政運営が図られることを願い、審査報告とします。



決算審査の結果について報告をする
館野代表監査委員

◆常任委員会審査結果報告◆

総務文教常任委員会

【議案第60号】

問 追加される罰則規定の対象者は？

答 職員・退職職員・業務委託事業者・指定管理者です。

【議案第61号】

問 法人税割の税率改正による影響は？

答 12.1%から8.4%への税率改正により約3割の減収となる見込みです。

【議案第62号】

問 老朽化した消防ポンプ自動車の処分方法は？

答 インターネットオークションによる売払いを予定しています。



委員会審査結果

議案第60号から議案第62号について、全員賛成により原案どおり可決しました。

産業厚生常任委員会

【議案第63号】

問 こども発達支援センターの利用者は？

答 自閉症・LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥・多動性障害）など、発達障害の就学児・未就学児の方です。

【議案第64号】

問 新たに指定される指定管理者の実績は？

答 全国で178件の放課後児童クラブの運営実績があります。

【陳情第4号 農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情】

委員の主な意見

厳しい農業経営は全国的な問題であることから、国の施策や県の動向を注視し協議を重ねる必要があり、現時点では判断ができない。



委員会審査結果

議案第63号は全員賛成により、議案第64号は賛成多数により、原案どおり可決しました。陳情第4号は継続審査と決定しました。



付託された案件について、所管課より説明を受け審査を行う常任委員
(総務文教常任委員会)



(産業厚生常任委員会)

28年度決算を審査し、認定される

決算特別委員会

平成28年度会計決算について、各常任委員会から選出された6人と副議長を加えた7人で所管課の説明を受け、審査を行いました。

【開会日】

9月13日・14日

【委員構成】

委員長	高橋 正昭
副委員長	生出 慶一
委員	宇津木宣雄
委員	稲川 洋
委員	稲見 敏夫
委員	稲葉 弘
委員	田村 稔

【各会計の主な質疑】

(一般会計)

問 下野市・上三川町・壬生町連携会議負担金の内容は。

答 男性は1市2町から、女性は東京圏から募集する婚活事業への負担金で、募集告知、ホームページの作成等に支出しています。

平成28年度は3回開催され、計19組のカップルが成立しています。

問 町内保育所の定員と実入所者

数は。

答 町内全8保育所の定員は525人で、実入所者数は534人です。

そのうち、町立大山保育所の定員は90人で、実入所者数は85人です。

問 町消費者生活センターに寄せられた相談件数と内容は。

答 件数は204件で、内容は、インターネット通信販売におけるトラブルに関する相談が多く寄せられています。

問 町営住宅の入居率は。また、施設修繕の進め方は。

答 全116戸中101戸の入居で、率にして87%です。施設修繕は、平成27年度に策定した長寿命化計画に基づき進めています。

(国民健康保険事業特別会計)

問 保険税督促手数料の金額は。

答 44万4,500円です。

平成27年度からは3万1,800円、318件減少しています。



所管課の説明を受ける決算特別委員会

(介護保険事業特別会計)

問 介護予防運動教室の参加人数と効果は。

答 参加人数は延べ2,327人です。教室等に参加し健康状態を維持することが、介護サービス給付費抑制へ繋がり、効果はあると考えます。

(後期高齢者医療特別会計)

問 保険料滞納者への対応は。

答 短期被保険者証を交付しています。

(公共下水道事業特別会計)

問 公共下水道接続率は。

答 平成28年度末で87%です。

(農業集落排水事業特別会計)

問 接続率向上への取り組みは。

答 未接続世帯へのアンケート結果を踏まえ、各地区役員と戸別訪問を行っています。

(水道事業会計)

問 起債の繰上償還の考えは。

答 平成24年度に水道料金値下げをしており、補償金免除の繰上償還対象とはなりませんでした。

【委員会審査結果】

一般会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計については全員賛成、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計については賛成多数で決算を認定、水道事業会計については全員賛成で剰余金の処分を可決及び決算を認定することに決定いたしました。

討論 (抜粋)

平成28年度会計決算認定に対する討論

一般会計・特別会計及び水道事業会計を認定することに対し、賛成・反対それぞれの立場から討論が行われました。

反対討論

○反対の討論を行います。

高齢化が進む中、介護保険制度の充実、全ての高齢者・国民の願いです。しかし、制度開始当初から現在までに保険料は約2倍となつています。「介護を社会的に支える」という当初の理念に立ち返り、サービス給付は必要に応じて、保険料は支払い能力に応じたものとすべきであり、国庫負担割合を引き上げることが不可欠ではないかと考えます。

また、国民健康保険では、支払い能力を超えた保険税は引き下げるべきであり、また、一般会計からの繰り入れを行い負担軽減を図るべきと考えます。以上のことから、議案第72号・73号・74号の決算認定に反対します。

○私は平成28年度一般会計決算執行に反対いたします。

その理由は、町民本位ではなく、行政の都合の良い予算執行をしているからです。

都市計画税により、利益を受ける受益者の度合いの差があるのに徴収し、不平等が生じているのを見直しもせず、平成28年度の都市計画税は2億1千800万円以上の税収入があるが、納税者に対して何を持って受益者がどのような利益を受けられるのか、明示がされていません。

また、側溝の清掃等が十分にされていないなか、都市計画税による雨水事業が計画されるなどしています。このようなことから、決算認定に反対します。

賛成討論

○賛成の立場から討論を行います。

決算の内容を精査すると、一般会計では、健全財政運営の維持に向けた努力が読み取れます。

町税は、前年度に比べ減収となったものの、他の財源を確保し、また町債では残高を年々減少させています。

特別会計及び水道事業会計においては、黒字決算又は利益を計上し、企業債残高等も減少し、厳しい財政の中、堅実な運営がなされている決算内容だと思われま

す。今後も、各種施策を確実に実行し、中長期的な展望に立った財政運営を行い、町民の負託に応えられるよう要望して、賛成討論とします。



員会視察研修報告

総務文教常任委員会 【研修日】6月28日・29日

○秋田県湯沢市 生涯学習人材バンクについて

「生涯学習人材バンク」は市内に在住、在勤、在学する個人又は団体で、職業等で身に付けた知識等を社会に役立てたいという思いを持った方が、資格等の有無に関らず登録し、生涯学習の場で指導者や講師として活躍できる制度です。

好評な点は、依頼者からは「専門的な意見、考案をいただいた」等があり、登録者からは「また依頼してほしい」等があるとのことでした。

課題点は、依頼者からは「講師との事前打ち合わせが必要である」があり、登録者からは「もっとPRしてほしい」等があるとのことでした。

制度を有効活用するには、安定した依頼者の確保と、運営方法を研究することが必要と感じました。

○秋田県大仙市

小中学校における学力向上の取り組み

大仙市では、平成28年度、地域活性化に寄与できる人材育成と能力を伸ばす教育として「大仙教育メソッド」を立ち上げました。

「共・創・考・開」をキーワードとして掲げ、「共に支え合う力の育成」、「創造的に生き抜く力の育成」、「考え生かす力の育成」、「開き信頼される学校」を実践するための取り組みにより、全国学力学習状況調査結果において記述式問題の平均正答率が、小中学校ともに全国及び秋田県を上回ったとのことでした。

抱える問題に積極的に取り組む両市の姿勢を拝見し、有意義な視察研修となりました。

委員長 高橋 正昭



広報委員会 【研修日】7月11日・12日

○秋田県雫石町・金ケ崎町

議会広報紙の編集について

両町とも日頃から広報編集を先進的に取り組んでおり、町村議会広報全国コンクールにおいて、雫石町は、平成23年度に優良賞を、金ケ崎町は、平成25年度に最優秀賞を受賞、その優れた紙面を作成する過程では、様々な独自の取り組みがなされていました。

本町にはない特徴的な取り組みとして、次のようなものがありました。

○紙面、写真、企画記事ごとに編集担当を決めて、編集委員は写真、見出し、原稿を担当。

○一般質問は、発言者が質問と回答の要旨をまとめ、原稿を作成。

○議会への一言として、毎回、3



雫石町にて研修を受ける広報委員

常任委員会・広報委

産業厚生常任委員会 【研修日】7月20日・21日

○愛知県東海市

トマトを使用した健康延伸への取り組みについて

トマトの加工製品で有名な「カゴメ株式会社」の創業者の出身地で、工場が市内に存在していることから、同社と「トマト de 健康まちづくり協定」を結び、様々な事業を実施しています。

「いきいき元気メニュー」では、一食800キロカロリー以下のメニューを市内店舗で考案してもらい参加店は健康応援ステーションとして認定するなど、官民上げて事業に取り組んでいます。

放課後子ども教室において料理教室を開催するなど市内がトマト一色になるほどの熱の入れようでした。

市内出身の偉人を顕彰するだけでなく、市民の誇りをくすぐりつつ健康づくりにつなげ、市外から人を呼び込むなど、様々な事業を市庁内横断的に次々と展開し、役所の柔軟性と実行力に感銘を受けました。

○静岡県清水町

子育て支援事業について、定住促進事業について

定住促進のため、多くの子育て支援事業に取り組んでおり、「元気な子供の声が届く町」を基本理念に事業を行っています。ファミリーサポートセンター事業では「子育てを応援したい人」「応援してほしい人相互の援助を行い、幼稚園・小学校への送迎も行っています。

放課後児童教室事業では、類似の事業である学童保育を合同化して実施し、補助金等の申請のみを書類上分けているとのことでした。業務は完全民間ではなく、町社会福祉協議会に対して行い、複合的な福祉の推進も目指しているとのことでした。

事業費等のねん出は、縦割り行政にとらわれることなく、合理的に類似事業を合同化する中で生み出し、既存施設を有効に利用するなどの町の理念に感銘を受けました。

委員長 稲川 洋



金ヶ崎町での研修のようす

委員長 神藤 昭彦

名の町民の声を掲載。
○表紙の写真シリーズ化
○レイアウト表を作り、それに従って編集作業をする。

○広報紙発行までの手順書を作成し、発行作業を行う。

また、「読みやすさ」についても、見た目はもちろんのこと、行政用語を分かりやすい言葉に替え、「知らせたいことと知りたいこと」「読んでほしい量と読める量の差」を重視し、読み手の立場に立った編集を行いました。

視察を通じ、広報紙を手に取り読んでもらうには、どのような配慮・編集を行うべきか多くのことを学びました。

誰のための議会広報紙なのかをもう一度確認し、課題を検討し、読みやすく、分かりやすい広報紙を作って行きたいと思えます。

臨時会

第3回町議会臨時会が8月1日に1日の会期で開催されました。

契約

工事請負契約の締結について

議案第55号

庁舎耐震補強工事

契約金額 4,860万円

相手方 株式会社東部興業

議案第56号

本郷小学校外3

大規模改造(空調整備)工事

契約金額 1億6,275万6千円

相手方 岩原・星野特定建設
工事共同企業体

議案第57号

上三川小学校外2

大規模改造(空調整備)工事

契約金額 1億5,444万円

相手方 日神・東部特定建設
工事共同企業体

議案第58号

本郷中学校外2

大規模改造

契約金額 1億7,906万4千円

相手方 田中・柳田特定建設
工事共同企業体

Table with 16 columns (議案番号, 付議事件, 結果, 賛成, 反対, 議決結果, 1-15) and 4 rows (第55号, 第56号, 第57号, 第58号).

第4回町議会定例会 審議決果一覧

Table with 16 columns (議案番号, 付議事件, 結果, 賛成, 反対, 議決結果, 1-15) and 20 rows (第59号 to 第77号, 委員会案第2号).

○…賛成、×…反対

※1・・・津野田重一議長(16番)は、採決に加わりません。

※2・・・臨時会については、津野田重一議長が欠席し、田村稔副議長(15番)が議事進行を行ったため、採決に加わりません。

一般質問

教育・地域づくりに論戦

一般質問 は、9月6日、7日の2日間にわたって行われました。

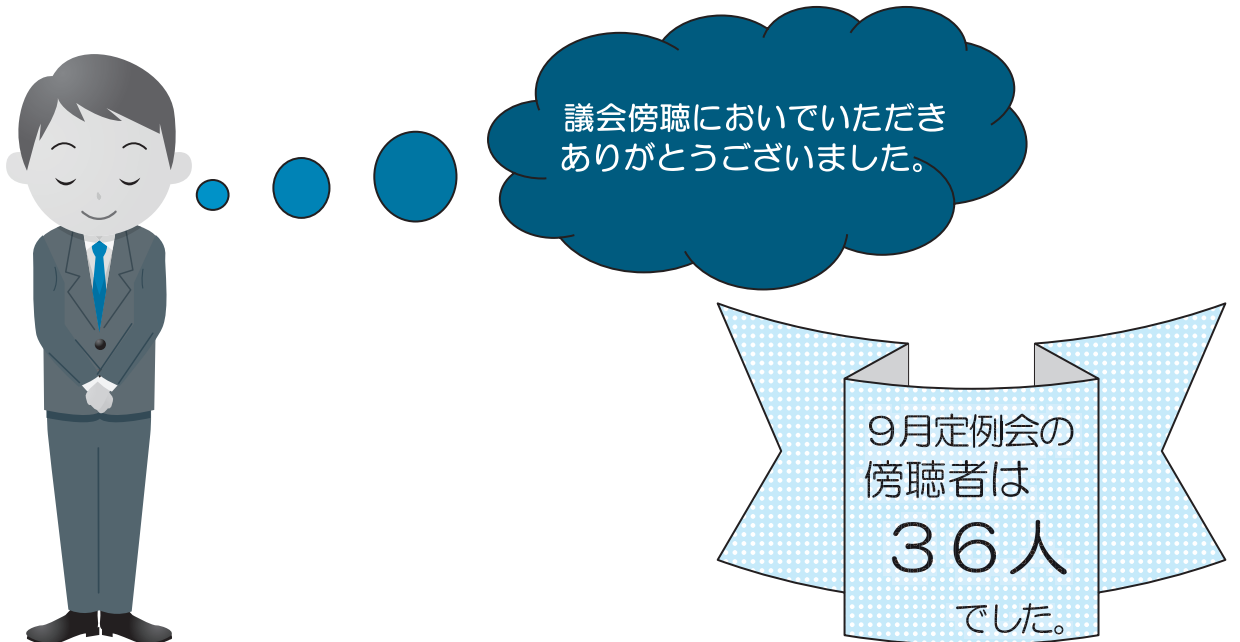
一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。

9月6日 5人の議員が登壇

質問議員 (質問順)	質問項目	質問要旨明細
いながわ ひろし 稲川 洋 議員	①中小企業振興条例	○制定の考え
	②待機児童ゼロに向けての町の取り組み	○町の基本的な考えと具体的な施策 ○保育施設入所基準の指数改善の考え
いなば ひろし 稲葉 弘 議員	①環境問題	○大規模太陽光発電施設開発規制への考え ○条例・ガイドライン策定の考え
	②小学校道徳教育について	○道徳教科化の内容 ○評価の問題点、変更点
	③学校教育を支える相談体制	○複雑、多様化するこどもが抱える問題に対する相談体制 ○非常勤教員の待遇改善の考え
	④学校給食無料化	○町の考え
しんどう あきひこ 神藤 昭彦 議員	①橋梁の安全対策	○40年、50年経過する橋梁の有無 ○長寿命化修繕計画の進捗状況 ○歩道のない橋梁の安全対策
	②町の公共施設トイレ	○公共施設トイレの洋式化 ○夢沼緑地等公園の簡易トイレ新設の考え
	③オリジナルナンバープレート	○町オリジナルナンバープレート導入の考え
えびはら ともこ 海老原 友子 議員	①がん対策	○30歳代の検診受診率 ○子どもを連れた方の受診者数と子どもへの対応 ○乳がん検診における、高濃度乳房周知の考え
	②結婚支援	○入籍した町民へのお祝い品贈呈 ○オリジナル婚姻届作成の考え
	③保育園への障がい児の受入れ対策	○特別な支援が必要な子どもを受け入れた保育園への補助制度 ○加配職員の配置形態 ○委託料増額の考え
しのづか けいいち 篠塚 啓一 議員	①意見箱への投書の扱い	○投書担当課は ○投書内容による各課への引き継ぎ方法 ○投書をした方への回答有無の判断方法
	②人口問題	○人口減少抑制 ○交流人口増加への取り組み ○少子・高齢化・定住人口減少等への具体的取り組み

9月7日 5人の議員が登壇

質問議員 (質問順)	質問項目	質問要旨明細
しどり かつのり 志鳥 勝則 議員	①道の駅	○道の駅整備への町長の考え
	②町の職員採用	○町の職員採用試験の流れと実施内容
うっぎ のりお 宇津木 宣雄 議員	①消防小型ポンプの更新	○今後の更新計画
	②消防団員の確保	○現状と今後の計画 ○福利厚生制度を充実する考え
かつやま しゅうすけ 勝山 修輔 議員	①都市計画税とインフラ整備	○インフラ整備への平成28年度都市計画税充当割合 ○都市計画税検討委員会、調査研究会の協議内容 ○インフラ整備予算に側溝修繕は含まれるか ○役場周辺側溝整備等の雨水対策事業 ○都市計画税の使途内容、納税者への優遇措置 ○市街化区域内に設置したからくり時計、公園噴水設置の効果 ○いきいきプラザ美観演出の効果
おいで けいいち 生出 慶一 議員	①自転車活用推進	○自転車活用推進計画、自転車専用道路等整備計画制定の考え ○災害時における自転車の有効活用の考え ○レンタル自転車（リサイクル）整備の考え ○防犯登録推進
	②子どもの貧困問題・子育て支援	○子どもの貧困対策 ○子ども食堂への支援 ○上記を含めた、子育て世帯が住み良い町への施策は
	③災害時の住民周知	○防災サイレンの聞こえない地域の把握 ○サイレン設置場所の増設
	④国民健康保険の都道府県化	○都道府県による変更点 ○県との打ち合わせ状況
おがわ きみだけ 小川 公威 議員	①町の入札・契約	○透明性の確保 ○適正な競争原理の元での地元事業者の受注機会増加への措置
	②ふるさと納税	○今後の方針
	③来年度予算編成	○予算編成の基本方針 ○新規事業の有無



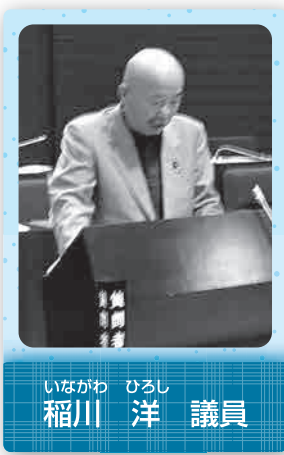
中小企業振興条例制定

問 県内の約7割の市町が制定を進めているが町の考えは。

答 産業振興課長 中小企業の生産性・競争力向上は地域経済活性化に不可欠であり、振興施策の基本理念を定める当該条例の意義は大きいと考えます。

また、市町村が地域実情に適した産業振興・中小企業施策の指針を定めることにより、行政と企業が、同じ方向性を目指し、それぞれの役割を果たせるものと考えられます。

こうしたことから、条例制定について、検討していききたいと考えます。



いながわ ひろし 議員
稲川 洋

待機児童への取り組み

問 待機児童ゼロに向けた考えと具体的な施策内容について問う。

答 福祉課長 「上三川町子ども子育て支援事業計画」に基づき、保育を必要とする児童数を見込み、待機児童を出さないように保育施設の定員を増やす事業を進めています。

具体的な事業の内容は、保育施設の増設・新設にかかる整備費を町が助成し、事業者の軽減を図っています。

問 保育施設入所基準の指数改善の考えはあるか。

答 福祉課長 入所基準は、国が示す規定を基に、市町の実情に沿った運用を行っています。町では平成27年度に見直しを行ったところであり、今後も社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じた見直しを行います。

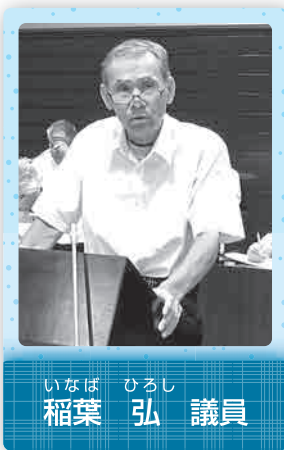
学校での相談体制

問 多様化する子ども達の問題に対するサポート体制について問う。

答 教育長 さまざまな問題に対し専門的なサポートを可能とするための体制づくりに取り組んでいます。

取り組みとしては、児童生徒や保護者・教職員からの相談対応を行うスクールカウンセラーや学校の問題の早期発見・早期対応体制づくりを支援する、スクールサポーターの配置をしています。

その他、集団が苦手な児童生徒への支援、発達や身体に障がいをもつ児童生徒への支援等を行うため、非常勤職員や特別支援補助員等を配置しています。



いなば ひろし 議員
稲葉 弘

問 非常勤講師の待遇改善について。

答 教育長 5月の地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、臨時・非常勤職員全体の任用根拠の明確化・適正化が求められています。職務内容等に応じた任用を検討したいと考えます。

町で任用する他の非常勤職員と関りもあるため、町人事担当課と連携して進めたいと考えます。

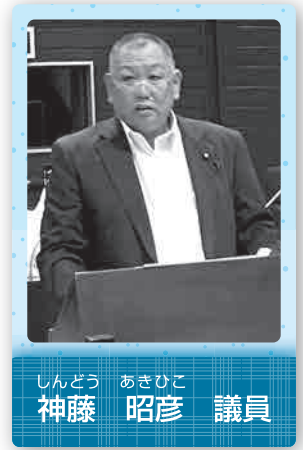
小学校道徳の教科化

問 教科化によってどのように変わるのか、また、内容は。

答 教育長 道徳教育は、学校の活動全体を通して行っていますが、その要となる、道徳の授業が「特別な教科道徳」として、平成30年度より教科化されます。

内容に大きな変更はないと考えていますが、いじめ問題への対応充実・情報モラルや国際理解教育など、現代的な課題を踏まえたものになっています。

公共施設のトイレ整備



問 トイレ洋式化の考えはあるか。

答 町長 和式トイレが整備されている築年数の長い施設について、近年は生活様式の変化に伴い、洋式トイレへの整備に努めているところです。

水周り改修には、多額の費用を要することから、施設の大規模改修工事等に併せ、対応していきたいと考えます。

問 蓼沼緑地公園・桃畑緑地公園への簡易トイレ新設の考えは。

答 町長 桃畑緑地公園については今年度中に、蓼沼緑地公園については平成30年度に、浄化槽式水洗トイレへ改修する計画です。

橋梁の安全対策

問 平成25年度策定の「橋梁長寿命化修繕計画」の進捗状況は。

答 町長 平成28年度までに6橋の修繕を計画どおり実施しています。

本年度は、策定から5年が経過することから、再点検・計画見直しを行う予定です。

問 歩道がない橋梁の安全対策は。

答 町長 交通量の多い橋については、自転車や歩行者の安全確保のため、歩道新設が必要と考えていますが、歩道橋整備・橋の架け替えには多額の費用が必要となることから、道路整備事業・河川改修事業での橋梁架け替え時に併せた歩道整備など、長期的視点で考えていきます。



問 保育園の障がい児受け入れについて

問 受け入れてる保育園に対する委託料増額の考えは。

答 町長 町独自の保育委託分加算は、受け入れ人数・保育の状況に応じて増額となる場合があります。

国の基準による療育支援加算については、各保育園に、加算要件など制度内容を改めて周知したいと考えます。

問 受け入れによる新たな職員配置はどのようにされるのか。

答 町長 保育園が、対象となる障がい児が集団生活を送る上で特別な配慮が必要であると判断した場合、主任保育士の

負担を考慮し、必要に応じて補助職員を配置します。

問 がん対策について

問 乳がん検診で、高濃度乳房と診断された方へお知らせをする考えは。

答 町長 検診で異常が発見されにくいとされる高濃度乳房などの乳房構成に関する結果についての通知は行っています。

国において、検討が行われているところであり、今後国の基準が示された後、対応したいと考えます。

問 結婚支援について

問 入籍した町民への祝い品贈呈の考えは。

答 町長 婚姻届出をした方と町のご縁が深まるよう、結婚証明書を記念品として差し上げるよう作成を考えています。

人口問題

問 平成24年度以降人口が減少しているが、抑制への考えは。

答 町長 人口減少対策は、町が将来に向け発展するための最重要課題としています。

「第7次総合計画」や「上三川町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」に定めた各種施策を実施し、減少傾向を可能な限り抑制したいと考えます。

問 少子高齢化・定住人口減少などの問題に対する、具体的な取り組みは。

答 町長 人口減少克服のために策定をしました、「上三川町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に掲げた事業を実施しているところです。



しのづか けいいち 議員 篠塚 啓一

問 交流人口増加に向け、具体的な取り組みは。

答 町長 企業誘致による雇用創出、観光による当町への来町者増加に取り組んでいます。

雇用創出では、現在町には誘致可能な産業団地がないことから、新たな産業団地の整備を進め、企業誘致を行うことにより、雇用創出を図りたいと考えます。

観光では、既存の観光資源の周知や魅力向上に努め、観光客増加を図りたいと考えます。

交流人口とは

通勤・通学や観光・買い物などで、地域に訪れる人。地域の交流人口が増加すれば、宿泊や食事、土産品の購入等が行われ、地域経済に貢献することが期待されます。

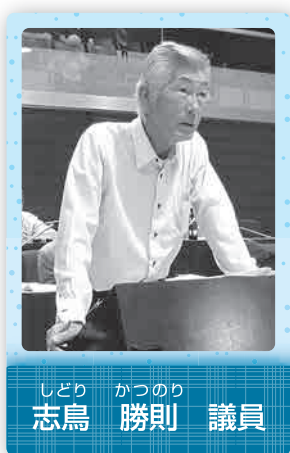
道の駅

問 県内でも多くの市町が整備、または検討している中、町の考えは。

答 町長 道の駅は平成29年4月現在、全国で1,117か所、県内では24か所が登録されています。

地域の核として農産物の販路拡大やPR、商業活性化など経済効果が期待できることから、地域活性化の起爆剤となりえる施設です。

そのようなことから、必要性について十分認識していませんが、設置場所の選定、管理運営方法さらに、財源確保等多くの課題があるため引き続き調査研究をしていきたいと考えます。



しどり かつのり 議員 志鳥 勝則

町職員の採用について

問 職員採用の流れと、採用試験の内容は。

答 町長 採用試験について毎年7月から8月にかけて募集を行い、9月に1次試験を実施しています。

10月に1次試験合格者を対象とした2次試験を実施し、2次試験の合格者をもって内定者としています。

試験項目の内容については、1次試験で教養試験及び一般生活診断検査を実施し、2次試験で作文試験、集団討議、個別面接を実施しています。

なお、本年度実施する採用試験では、3次試験まで実施します。内容は、昨年までの1次試験と2次試験の間にグループワーク試験を実施することになりました。



消防団員の確保



問 消防団員確保は全国的な課題であるが、町の現状と今後の計画について問う。

答 町長 消防団員の人数は、条例で定められた定数の250人を現在は満たしていませんが、少子高齢化や就業形態の変化、地域コミュニティの希薄化等により、今後ますます団員確保が困難となっていくことが予想されます。

問 団員確保策として福利厚生制度の充実を図る考えは。

答 町長 新入団員の確保が困難となってきたことから、装備品の充実以外にも消防団の魅力アップのための施策を

立案することが急務です。そのため、本年4月より消防団サポート事業を開始し、地域ぐるみで消防団を支える制度を実施しています。今後も、地域防災力に不可欠な消防団がより良い環境で活動できるよう、福利厚生の実現を図っていきたいと考えます。

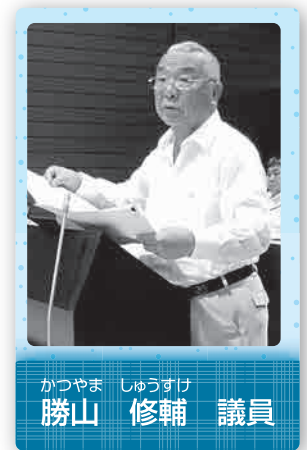
消防小型動力ポンプの更新について

問 現在、消防団には小型動力ポンプ積載車4台が各地区に配備されているが、小型動力ポンプの更新計画は。

答 町長 計画では、ポンプを載せる積載車の更新時にポンプ自体も併せて更新することにしていきます。

20年以上を経過したものであるため、適宜更新したいと考えています。

都市計画税とインフラ整備



問 都市計画税の調査研究会と検討委員会で話し合われる協議内容は。

答 町長 調査研究会は、町の都市計画税のあり方の検証を実施するため、町内外の現状調査を行い、その調査研究結果について検討委員会に報告することを任務としています。

検討委員会は、調査研究会から報告された調査研究結果を検証し、都市計画税のあり方について町長へ報告することを任務としており、町の都市計画税課税の必要性、税率の妥当性について検討しています。

問 都市計画税納税者に対する優遇措置は。

答 町長 これまでの都市計画事業、または土地区画整理事業等の実施により、一般的に課税区域内の土地・家屋の利用価値が向上してきたという受益関係に着目し、土地家屋所有者に、課税されるものです。

問 市街化区域内に設置したからくり時計、公園噴水やいきいきプラザでの美観演出の効果は。

答 町長 上三川通りの大通り公園に設置されているからくり時計は、シンボルの役割と、より質の高い街並みづくりを目的に平成9年に設置しました。しらさぎ公園の噴水には、近隣住民の憩い、安らぎの場やレクリエーションの場として整備したものです。

いきいきプラザの空間は、健康づくりの拠点として広めていくという姿勢を外部に発信する効果があると考えます。

子どもの貧困問題

問 貧困対策の考えについて問う。

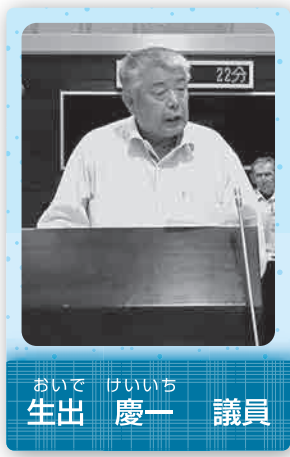
答 町長 子どもの貧困対策は貧困の世代間連鎖を断ち切ることを目指し、将来を支える人材育成策として取り組むことが重要であると考えます。

対策を総合的に推進するためには、子どもの教育、生活支援、保護者の就労、経済的支援が不可欠であると考えます。

災害時の住民への周知

問 防災サイレンが聞こえない地域について把握をしているか、また、増設の考えは。

答 町長 サイレンが聞こえづらい地域があることについては把握をしています。



おいで けいいち 生田 慶一 議員

設置場所の増設については、サイレンは季節や時間帯等で聞こえづらいこともあることから、今後、調査研究を行い、解消に努めたいと考えます。

国民健康保険の都道府県化

問 都道府県化により変わることはあるか。

答 町長 都道府県化により、県が財政運営の責任主体となり町と共同で事業の運営を行います。

県は町の効率化・標準化等の推進や、標準保険料の率の算定を行うほか、給付に必要な費用を町に支払い、助言支援等を行います。

町の業務について、大きな変更はありませんが、平成30年4月以降は県より示される標準保険料を参考に、課税・徴収した国民健康保険税を事業給付金として県に納めることとなります。

町の入札・契約について

問 地元業者の受注機会が増えるような措置はあるか。

答 町長 指名業者の選定では、町の建設工事等請負業者選定要綱に基づき、町内業者の健全育成及び適正な施工能力を重視しています。

大規模工事や特殊工事等については、大手建設業者と地元建設業者による、建設共同企業体による施工を条件として地元建設業者の受注拡大と技術習得促進に配慮しています。

問 透明性確保はどのようにしているか。

答 町長 入札執行については、地方自治法に定められており、



おがわ きみたけ 小川 公威 議員

町においても法令等に基づき執行しています。

実施については、公告または指名通知により入札参加者に周知し、主に電子入札を行っている。

結果については、町ホームページ、新聞等で公表し、透明性の確保を図っています。

ふるさと納税

問 今後の方針は。

答 町長 平成28年度は件数27件で、1,093万2千円の寄附金がありました。

今後は、町をPRする手段として活用していきたいと考えます。

具体的には、特産品のイチゴ出荷が始まる頃までに、インターネット申請やクレジットカード決済ができる、ふるさと納税の専用サイトに登録を完了し、多くの方々に地元特産品の魅力を発信したいと考えます。

上三川町ってどんなところ？

上三川町を紹介します。

第二弾、町内公園紹介！

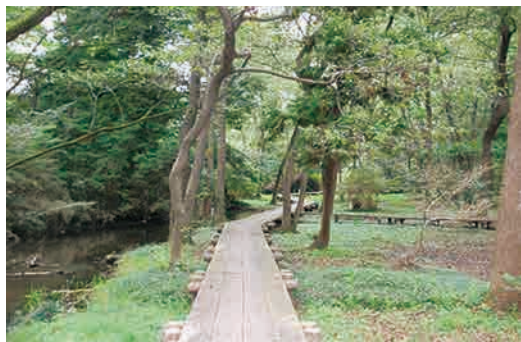
かみのがわには、緑の大地や水辺を生かしながら整備された公園が多く点在しています。スポーツやハイキングに、また、園内の花を觀賞しながら休日は家族そろってお出かけください。



ゆうがお公園
大きな芝生広場と遊具の公園



夢沼親水公園
水と緑に親しむ公園



磯川緑地公園
水辺の木道を歩く(ミニハイキング)



田川ふれあい公園
パークゴルフの本格的なコース



富士山公園
スポーツや散歩に！
(テニス・プール・野球場・体育館)



しらさぎ公園
町内を一望できる丘と噴水の公園

編集後記

9月議会では10人の議員が一般質問を行いました。町民の皆さまの声を町執行部に伝え、意見を交換することができました。

季節は秋となり、10月に町民スポーツ・レクリエーション祭が開催されるなどスポーツの季節となりました。体を動かすことは、体力増進と共に、心身をリフレッシュする効果があります。皆さまもぜひ、スポーツに親しまれ、健やかな毎日をお過ごしいただければと思います。

広報委員会では、議会広報紙作成の先進地であり、全国大会優秀賞を受賞された岩手県栗石町・金ヶ崎町で研修を行い、分かりやすい広報紙作成の方法を学びました。

これまでの議会だよりを見直し、町民の皆様が読みやすい広報紙を作成して行きたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

広報委員会

(宇津木)

委員長 神藤 昭彦

副委員長 海老原友子

委員 宇津木宣雄

委員 志鳥 勝則

委員 田村 稔